

平成22年度

生活衛生関係営業における 地域福祉増進に向けた取り組み

— 平成22年度 地域福祉増進モデル事業報告書 —

千代田地区

平成 23 年 3 月

財団法人 東京都生活衛生営業指導センター

目 次

ごあいさつ	1
1 平成 22 年度の取組について	2
(1) 21 年度 地域福祉増進モデル事業報告書の配布	2
(2) 「みんなにやさしいお店」リーフレットの作成	2
(3) 千代田地区生衛業福祉推進委員会	2
2 実施結果	2
(1) 利用状況結果（月別）	2
(2) サービス提供店を利用したグループの感想	2
①神保町いろは	2
②後楽寿司	2
③ふぐと日本料理 三友	2
④レストラン る・ぴあの	3
⑤中国料理 華福	3
⑥あさ乃	3
⑦中華料理 源来酒家	3
⑧「鳥どり」 水道橋店	4
⑨江戸っ子寿司「彩」	4
(3) サービス提供店の感想	4
3 今後の取組について	4
4 千代田地区生衛業福祉推進委員会会議録	5
(1) 第 1 回千代田地区生衛業福祉推進委員会会議録	5
(2) 第 2 回千代田地区生衛業福祉推進委員会会議録	10
(3) 第 3 回千代田地区生衛業福祉推進委員会会議録	16
5 千代田地区福祉推進委員会委員名簿	23
6 地区生衛業福祉推進委員会運営要領	24

ごあいさつ

地域福祉増進モデル事業を千代田地区で実施してきて8年が経過いたしました。このたび、平成23年3月末をもって、千代田地区での地域福祉増進モデル事業（この事業に伴う利用助成金制度）を終了することとなりましたので、お知らせするとともに、地域福祉増進モデル事業に多大なご協力をいただきましたことに、深く感謝申し上げます。

このモデル事業は、通常の営業としての食事サービスによって、地域での顔なじみの関係をもち、その交流を通じて、サービスの内容等に工夫をこらして、高齢者等のグループの希望に飲食店等が応じていこうとするものでした。

この8年間に、地域の方々のモデル事業へのご理解も進み、グループの会合のときはもちろん、個人的にも利用していただけるようになったと、サービス提供店からの声が届くようになりました。この事業が、千代田区社会福祉協議会や地域のサロングループの皆様方のご協力とサービス提供店のご努力で、「地域の顔なじみ」システムとして着実に進展してきていると感じております。

平成21年度には、「地域の顔なじみ」システムがさらに発展するようにと、生衛業地域生活支援事業を活用し、生衛業者への知識、技術の提供を目的とした「補助犬同伴受け入れ」と「認知症サポート」の講習会を開催し、多くの方にご参加いただきました。

これらの取り組みを通じて育んできた、障がいを持つ方や高齢の方など誰でもが気軽に誘い合い、飲食店などで食事を楽しみ、多くの人と交流し、お互いに見守り、助け合っていけるような誰もが安心して暮らし続けられる街づくりがさらに進展することを願っております。

今年度末をもちましてモデル事業利用助成金はなくなりますが、地域福祉増進モデル事業に参加したサービス提供店は、「地域の顔なじみ」のお店として「人にやさしいお店」として引き続き皆様方のご利用をお待ちしています。

これからもぜひご利用くださいますよう、昨年サービス提供店のご紹介のため「みんなにやさしいお店」リーフレットを作成し、配布いたしましたので、ご活用いただけますよう重ねてお願い申し上げます。

平成23年3月31日

東京都生活衛生営業指導センター

理事長 渡 邊 志 雄

1. 平成 22 年度の取り組み

- (1) 21 年度 地域福祉増進モデル事業報告書の配布
- (2) 「みんなにやさしいお店」リーフレットを 300 部作成し配布
- (3) 千代田地区生衛業福祉推進委員会開催（会議録 別紙）
 - ①平成 22 年 8 月 3 日（火） 第 1 回
 - ②平成 22 年 12 月 15 日（水） 第 2 回
 - ③平成 23 年 3 月 8 日（火） 第 3 回

2. 実施結果

(1) 利用回数及び人数結果（月別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数	3	4	3	3	1	3	5	5	5	2	1	8	43
利用人数	47	52	22	21	3	55	46	73	87	12	30	97	549

(2) サービス提供店を利用したグループの感想・意見

サービス提供店を利用されたグループからは、次のような感想・意見が寄せられている。

- 神保町いろは
 - ① 地下 1 階を利用しました。いつも大変親切な対応をしていただき感謝しています。（来店 6 名）
- 後楽寿司
- ふぐと日本料理 三友
 - ① 昼の混雑時にもかかわらず、予約を受けていただきました。イス席にさせていただき、足腰に負担なくゆっくりとくつろぐことができました。（来店 9 名）
 - ② 混雑するお昼時にもかかわらず、イス席の予約を受けていただきありがとうございました。エレベーターもあり、高齢者には利用しやすいです。（来店 10 名）
 - ③ いつも椅子席を用意して頂きまして助かっております。（来店 17 名）

- レストラン る・ぴあの
 - ① 平河町1丁目福祉部の高齢者昼食会は、今までお寿司がほとんどでしたが、久しぶりのフランス料理でしたので出席者の多くから好評をいただきました。(来店19名)
 - ② 美味しく食事いただきました。(来店6名)
 - ③ 新年会は、5年位前より毎年利用させて頂いています。会員一同、今年の計画等話し合い、又、先生からのご指導のお話もあり有意義なひと時を楽しみながら、美味しいお料理を食べて終了します。又、来年もできれば利用したいと思っております。(来店10名)
 - ④ とてもゆったりとした雰囲気です。店内は明るく清潔感があり、感じが良かったです。2000円のセットを注文しましたが、年配の方にはボリュームがあり過ぎるようでした。(来店5名)
- 華福
 - ① 仕切りを設けていただくなど細かい配慮をしていただきました。参加者も楽しい時間を過ごせたと思います。有難うございました。(来店11名)
- あさ乃
 - ① ご飯も温かく美味しくいただきました。容器も使い捨てのものでなく良かったです。(出前18名)
 - ② 持ち帰り用の紙袋も用意していただきました。いつもあさ乃さんの味が気にいっています。(出張22名)
 - ③ いつも温かいご飯をお届けいただき助かっております。(出前7名)
 - ④ いつも温かいお弁当ありがとうございます。皆様が喜んで召し上がりました。また、今後ともよろしくお願い申し上げます。(出前11名)
 - ⑤ いつも温かいお弁当お届けいただきまして助かっております。地区ごとに分けてきていただき、配るのにも楽に出来ました、配慮していただき感謝しております。(出前25名)
 - ⑥ 高齢者に合わせて、ご飯を柔らかめにいただき、また、いつも温かい状態で配達していただき感謝しております。(出前11名)
- 中国料理 源来酒家
 - ① とても美味しく、気持ちの良いお店でした。集りの時に、どうしても食事時間になり、各自の負担になっておりましたので、補助を受けられ活動を計画するうえでもとても助かります。(来店4名)
 - ② ゆっくりくつろぐことができました。(来店9名)

- ③ 美味しかったです。(来店 6 名)
- ④ 初めて利用させていただきましたが、お料理もいろいろ工夫され、美味しく大満足でした。(来店 5 名)
- ⑤ 前日の申し込みでしたが個室を用意して頂きました。対応もスムーズで美味しいランチを頂きました。(来店 20 名)
- 鳥どり 水道橋店
 - ① 明るい対応に気持ち良くされます。(来店 3 名)
 - ② とても親切な対応で食事も美味しかったです。(来店 6 名)
 - ③ お店の方の対応がとてもよく、気持ちよく利用させていただくことが出来ました。(来店 3 名)
 - ④ 人数にしては広い個室を利用させていただきました。ゆったりと座ることができ、良かったです。(来店 5 名)
- 神田江戸っ子寿司 「彩」
 - ① イス席を利用しましたが、店内がゆったりとした配置で、ゆっくりくつろぐことができました。ありがとうございました(来店 4 名)
 - ② 大変おいしいお寿司をご提供いただき、また、煮物も合わせてお願いしたところ、こころよく受けて下さり、こちらの方も味も良く、お年寄りが食べやすい大きさに煮ていただきました、参加者皆様、大変なお喜びでした。いろいろご便宜を図っていただき感謝しております。(出張 37 名)

(3) サービス提供店の感想

- フルーツエリア鶴
 - ① サポーターさんが協力的でよかったです。
 - ② 和やかな雰囲気良かったです。
 - ③ 参加した親子は楽しそうでした。
- 源来酒家
 - ① 美味しかったとの、ご評価をいただきました。日々精進したいと思っております。

3. 今後の取り組みについて

皆様のご協力によりまして、22 年度は、8 年間で一番多くご利用していただき助成金が活用されました。23 年度以降、助成金なしでも顔なじみ店として、人にやさしいお店としてのサービスを行いますので、皆さまのご来店をお待ちしておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

平成 22 年度 第 1 回 千代田地区生衛業福祉推進委員会 会議記録

作成者 松本

開 催 日		時 間
平成 22 年 7 月 28 日 (木)		14 時 30 分から 15 時 30 分まで
会 場	千代田区社会福祉協議会 6 階会議室	
出席者	委員	和田委員長 (町会) / 都築 (とまと) / 中田 (とまと) / 大石 (昌平)
		和久井 (昌平) 小笠原 (あつまろう会) / 江戸川 (なでこ) / 宮下 (ちどり会)
		鈴木 (町会) / 松本 (町会) / 武藤 (地域福祉係) / 宇治野 (高C)
		松本 (地域福祉係) / 吉永 (VC)
	業者	目崎 (いろは) / 高橋 (後楽) / 折原 (蛇の目) / 傳 (源来酒家) / 井上 (鳥どり)
	センター	中村 / 小川 / 伊部 / 福島

議 事

(◎＝委員長、○＝委員、●＝業者、◇＝都生活衛生営業指導センター、
→＝事務局)

〔挨拶〕 ◇小川

生活衛生営業指導センターの専務に異動があり、本日は中村が来ています。

〔自己紹介〕 ◇中村

本日は暑い中、またお忙しい中お越しいただきありがとうございます。このモデル事業も 8 年目を迎えます。この間、協力店や利用者も着実に増えてきました。今年度が最終年度であります、地域の福祉のために委員の皆さまにご協力をお願いいたします。本日は昨年度の報告と、今年度の計画を話していきたいと思っております。どうぞよろしくをお願いいたします。

〔資料確認〕 ◇小川

(1) 委員長互選 ◇小川

これから今年度の委員長を皆さまで互選していただきたいのですが、昨年度まで委員長を務めていただきました和田委員に引き続き委員長をお願いしたいと思います、皆様よろしいでしょうか。 ⇒ 異議なしで選出された。

和田委員長あいさつ

私が特に福祉に理解があるというわけではないのですが、私がいる町会は比較的福祉部ができたのは早い方でした。皆さまに色々と教えていただきながらやってきました。過去、荒川区の会議にも二度ほど出席しましたが、

今年度も世田谷区で補助犬の事業があるようですので、お時間のある方はぜひ行ってみてください。また、微力ながら頑張りたいと思いますので、皆さまのご協力どうぞよろしくお願いいたします。

(2) 委員紹介 ◇小川

(3) 平成 21 年度地域福祉増進モデル事業報告書について ◇伊部 (資料説明)

1. 平成 21 年度の取り組み

- *平成 21 年度地域福祉増進モデル事業報告書の配布
- *新たなサービス提供店への点字メニューの作成
- *「補助犬同伴受け入れ」等講習会の実施について
- *千代田地区生衛業福祉推進委員会 (計 3 回)

2. 実施結果

- *平成 21 年度地域福祉増進モデル事業は 37 回、582 名の利用者
18 年度 342 名、19 年度 220 名、20 年度 440 名で増加傾向にある。
22 年度は本日現在ですでに 12 件の利用がある。昨年度同時期には 8 件だった。荒川区が昨年度で終了し、予算もあるので、ぜひ多くの方に利用していただきたい。高齢者のグループの方にもご紹介いたします。
- *サービス提供店を利用したグループの感想
美味しかった、感謝しているという意見も多いが、一方で従業員に対する要望も寄せられている。「エレベーターがあるのに階段を案内された」「精算の時に室料チャージを請求された」「モデル事業について従業員が全く理解しておらず説明に手間取った」「トイレが 2 階だったので、1 階にもあるとよいと思う」など。
- *サービス提供店の感想
利用するにあたり要望がある場合は、事前にお知らせいただければ対応して下さるといってお店もあります。

3. 課題

- *今後の地域福祉増進事業の支援および利用拡大の方策について
今年度で終了する。7 年が経過し、システムも定着してきた。今後は「地域の顔なじみ」として助成金なしでも利用していただきたい。
平成 21 年度は国庫補助事業の生衛業地域生活支援事業を活用して「補助犬同伴受け入れ」と「認知症サポーターについて」の講習会を実施し、

補助犬や認知症の認知度を高められたと感じている。

平成 22 年度は世田谷区でも千代田区のようなマップを作成しようと考えたが、地域が広く店舗も多いため断念した。その代わり従業員の接客マニュアルを作成することになった。耳や目の不自由な方、高齢者などの接客に役立つマニュアルを作成したいと考えている。

*助成金のあり方について

平成 22 年度も 1 回 3,000 円をお願いしたい。

(4) 意見交換

和田◎：今のお話の途中にも出てきましたが、利用者を増やすために高齢者センターの利用者を対象に PR したらどうかという話が以前出たと思う。その後どうでしょうか。

伊部◇：確か数件ありました。

武藤→：いえ、問い合わせはありましたが、利用は無かったと思います。広報にも掲載したので、それは広報を見てた方からだと思います。

宇治野○：高齢者センターからお渡ししている申込書はありますが、センターを通しての申込みは無かったと思います。

和田◎：申し込み方法を理解していただければ利用していただけるのですが、結構書類が多いので、面倒になります。

武藤→：それで去年は書類をこちらで書く方式をとりチラシも作成したのですが、その方式でもセンターを通しての利用はなかったと思います。

和田◎：お店の方では利用するにあたり注意してほしいことなどありますか

折原●：特にはありません。

和田○：利用される方はいかがでしょうか。私からひとつあります。予約をする際に電話をかけますが、昼の忙しい時間は避けようと思い、午後 2 時 3 時に電話をするとお店の方が電話に出ないのです。

都築○：お店としては昼と夜どちらの利用の方がよろしいでしょうか。

高橋●：お昼時は確かに忙しいですが、1 時過ぎてからは大丈夫です。

松本○：いろいろな会で利用しています。先日も利用しました。高齢者が多いので、椅子席でないと難しいです。先日も 10 名で 12 時位にお邪魔してしまいましたが、嫌な顔せずに受入れて下さいました。また予算に合わせてフルーツも作って出して下さいました。こちらも予算がないので助かっています。ただ、いろいろ他のお店も利用したいのですが、風ぐるまの停留所近くでないと歩くのが大変なので、利用するお店が限られてしまっているという現状があります。

和田◎：源来酒家の傅さん、何かございますか。

- 傳●：来ていただけるだけで嬉しいです。ご予約いただければ何時でも大丈夫です。エレベーターもあります。
- 和田◎：松本委員の所では出前のお弁当の時もありますか。
- 松本○：お弁当も年1回位はありますが、出かけた方が雰囲気もありますし、好まれています。
- 和田◎：吉永委員は高齢者センター方が利用できるようにするにあたって何か工夫できるような考えはありますか。
- 吉永○：今は後から助成金が振り込まれてくるシステムですが、先に助成金チケットのようなものをお渡しして、それをお店で会計をする時に渡すとその分引かれるようなその場でできるシステムがよいと思います。振込口座を教えたりする手間や個人情報の問題もあり、負担に感じる印象を受けます。
- 和田◎：高齢者センターで大勢で出かけるという企画はできないものでしょうか。
- 宇治野○：何か事故があった時のために責任の所在を明らかにしておく必要があります。そのためには事業として行う必要がありますが、そうになると人手の問題があります。
- 和田◎：それはボランティアさんにはお願いできませんか。
- 宇治野○：できます。しかし、ボランティアのみをお願いするというわけにもいきません。高齢者センターが利用している例をお話しますと、連合長寿会の役員会の半期に一度、後楽寿司さんに出張でお願いしています。現実的には高齢者センターでは出張の方が利用しやすいかもしれません。
- 中田○：私も高齢者センターで午前中に講座が終わり、みなさんでお昼に行くときにあらかじめ行くところを決めて（予約して）行くというよりも、歩きながら決めるということが多いような気がします。そうすると事前に予約するということがなかなか難しいです。
- 和田◎：長寿会ではこの生衛業のお話はしていますか。
- 宇治野○：長寿会でもしていますが、集団で外に行って食事をするということは現実的には厳しいようです。みなさんお弁当を買ってきてしまいます。また、手続きをこちらでやってくれるなら…という雰囲気があります。
- 和田◎：わかりました。それでは最後にお手元の荒川区の『みんなにやさしいお店』資料をご覧ください。福島さんからご説明があります。
- 福島◇：今年度でこちらの事業も終了する予定です、荒川区で作ったように千代田区でもカラーでサービス提供店の案内を早速作成する予定です。

助成金制度は終了しても、引き続き「地域にやさしいお店」として発展していただければと思います。また、世田谷区では『補助犬同伴受け入れについて』等の講習会を行います。お時間のある方はぜひお越しください。

和田◎：みなさんよろしくお願いいたします。それではあと委員会は2回となります。次回は昨年と同時期の11月末頃の開催となります。それでは皆様本日はありがとうございました。

以 上

平成 22 年度 第 2 回 千代田地区生衛業福祉推進委員会 会議記録

作成者 松本

開 催 日		時 間
平成 22 年 12 月 15 日 (水)		14 時 30 分から 15 時 30 分まで
会 場	千代田区社会福祉協議会 6 階会議室	
出席者	委員	和田委員長 (町会) / 大石 (昌平) / 和久井 (昌平) 小笠原 (あつまろう会)
		江戸川 (なでし) / 加藤 (宮下さん代理ちどり会) / 松本 (町会)
		梅澤 (地域福祉係) / 武藤 (地域福祉係) / 宇治野 (高C) / 松本 (地域福祉係)
		吉永 (VC)
	業者	高橋 (後楽) / 伊藤 (華福) / 折原 (蛇の目) / 傳 (源来酒家)
センター	中村 / 伊部 / 福島	

議 事

(◎=委員長、○=委員、●=業者、◇=都生活衛生営業指導センター、
→=事務局)

[挨拶] ◇伊部

生活衛生営業指導センターの小川、所用のため本日参加できず、伊部が進行する。

また、ふれあいサロン「トマトの会」都築さん、中田さん、業者委員では「神保町いろは」目崎さん、「あさ乃」浅野さんが欠席。「千代田区母子寡婦ちどり会」は宮下さんの代理で加藤さんが出席。

[資料確認] ◇伊部

[あいさつ]

中村◇：寒い中お集まりいただき、ありがとうございました。このモデル事業は千代田区で8年目になります。この間、着実に利用されている方が増えていると思います。この事業を通じて、地域での顔なじみの関係を作っていけたらと思っていました。グループだけではなく、個人のご利用も増えているという声も届いています。また、今年度は千代田区に続き、世田谷区でも盲導犬の講習会を行いました。この事業(助成金)は今年度で終わりますが、引き続きご利用いただき、このような関係が続けばよいなと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

梅澤○：こんにちは。この事業も非常に長くなり、みなさまに浸透してきたところかと思えます。私たちも地域のみなさんと一緒にお店を利用させていただくことがあるのですが、顔と名前がわかってきて、お店に行くとき声をかけていただける状況ができてきて、この事業を行ってきてよかったなと思っています。地域のみなさまも同じお気持ちではないかと思えます。千代田区社会福祉協議会では、住民・企業・在勤・在学者のみなさまのための暮らしのお手伝いできればと思って働いています。この事業が終了したとしても、みなさまと協力し合って取り組みができたかと思っています。

気になる新聞記事がありましたのでご紹介いたします。それは、東京都内では、毎日 10 名の方が孤独死されているという記事です。千代田区でも何名かいらっしゃる状況で、これを防ぐには、多くの方の目が必要なのだと思います。何か周囲で異変を感じましたら、区役所・社会福祉協議会・あんしんセンターなどにお知らせいただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

和田◎：年末のお忙しい中、特に業者のみなさま、ご協力ありがとうございます。

この事業も 8 年になります。今日の資料にも利用者の延べ人数が出ています。この調子でいけば、昨年度よりもいいペースにあると思います。ただし、ここまでは助成金がありますが、これからはなくなります。根付くかどうかは来年にかかっていると思います。これからもどうぞよろしく願いいたします。

(1) 平成 22 年度地域福祉増進モデル事業の利用状況について

伊部◇（資料説明）

*平成 22 年度の協力店数 12→11 に変更（玄海さんが退会となったため）

*利用回数 30 回、利用延べ人数 375 名、昨年よりも増えている。

これから忘年会や新年会、総会なども多く、助成金が出る最後の年なので、積極的に利用してほしい。昨年は 12 月 9 日以降は、17～18 回位利用していただいている。

*助成金の申請書類、ない方はお持ちください

(2) 「みんなにやさしいお店」冊子の配布について 福島◇（資料説明）

（作成目的）

*助成事業の終了についてはできるだけ早く宣伝したい。

- *助成金がなくなった後でも、みんなにやさしいお店として利用していたきたい主旨で作成した。
- *お店には自分のお店のページのみ宣伝用にお渡しした。
- *千代田区社会福祉協議会には、グループに配布していただくよう 200 部お渡しした。

和田◎：荒川区はもう助成金制度がありませんが、その後利用状況はいかがでしょうか。

福島◇：詳細（件数）は把握していませんが、その後もみなさんにとってやさしいお店として、利用されているようです。

和田◎：確かに、助成金の申請がなければ、件数はつかめませんね。

（3）補助犬同伴受け入れについて等の講習会報告（世田谷区）

福島◇（資料説明）

和田◎：世田谷区では、2回開催しました。

福島◇：第1回目は、9月27日に成城ホールで行いました。関係者含め51名の参加者で、アンケート回答者数は16名でした。今回、荒川区の認知症を紹介する劇団『あら笑（え）座』による講演も行い、好評でした。

日本盲導犬協会から1頭、ユーザーの方の盲導犬1頭、計2頭の盲導犬を見ていただきました。

第2回目は、10月19日三茶しゃれなあどで行い、63名の参加者がありました。2回の合計で、114名の方に参加していただきました。千代田区は確か1回で101名でした。世田谷区は広いので、2回開催しました。アンケートは25名の方に提出いただきました。3枚目のアンケートの2つ目の回答で『誰かひとりだけで』の気持ちで毎日過ごさせていただけます」という回答があります。これは、『あら笑座』の方が劇中で言っていた言葉で、誰か一人に見守られるだけで非常にありがたいといった意味で使われた言葉だと思います。

当日は、実際に盲導犬が2頭いて、触れる時間もありましたので、みなさんより身近に感じられたのだと思います。

和田◎：荒川区、千代田区、世田谷区で行ってきました。千代田区の講習会に出られた方は、どれ位いらっしゃいますか。

（数名手を挙げる）ありがとうございました。

このようなことは、業者の方に理解していただくことが大切です。

私は、荒川区の講習会に参加しましたが、盲導犬のユーザーの方のお言葉がとても印象的でした。「ありがとう」と言わなくてもいいような親切が当たり前の社会ができたらということです。

盲導犬センターの方のお話も良く、優しく、その場も和やかなのですが、心に残らないのです。厳しく適切な言葉の方が印象に残ります。

私が若い頃に、目の不自由な方と駅で会い、手をつないで引っ張って行ったことがあります。最後に「何かありましたか」とお伺いしたら、「手をつながないで、肩を貸してください」といわれました。きちんとはじめに聞かないで行動してしまった、そんなことがありました。目の不自由な方のお話ですと、相手に対し「この方は声はやさしいけど、きついのではないのか」等いろいろ考えてしまうこともあるようです。

ですので、いろいろな会に出ていただいて、不自由な方の本当の気持ちを知ってもらえればと思います。

今後は世田谷区以外でもあるのですか。

伊部◇：今のところはありますが、今後は考えなくてはいけません。先日NHKでも盲導犬のことが取り上げられていましたが、歯医者でも盲導犬が拒否されてしまうことがあるようです。

小笠原○：盲導犬等は衛生法ではどうなっているのか。

伊部◇：盲導犬については平成14年に法律ができています。それに基づいて清潔にしなくてはいけないということが決まられていて、普段は何も被らなくても、場合によっては被って入店することがあります。

福島◇：毎日のブラッシングと定期的な獣医の検診が義務付けられています。

(4) 意見交換

和田◎：松本さん、何かありませんか。

松本○：よく利用させてもらっています。20日にもまた利用する予定です。

和田◎：それでは「モデル事業のまとめと今後の展開」の表の右側備考欄の説明をお願いできますか。

伊部◇：こちらに書かれている店名は参加した新規店と退会したお店の名前となっています。

和田◎：業者の方にご質問したいのですが、お弁当を頼む場合、どうしても1個あたりの価格が安くなってしまう場合があるのですが、それでも採算はとれるのでしょうか。

伊部◇：儲けがなければやらないと思いますから、大丈夫じゃないでしょうか。

松本○：私どもで「あさ乃」さんをお願いした時は 800 円でしたが、800 円以上の中身が入っていました。ですので、みんなで感謝しました。今後は助成金 3,000 円がないので、少々不安ですが。

和田◎：数が多くないと引き受けてもらえないのではないですか。

松本○：いいえ、30 個に満たない位でも引き受けてくださいました。これからは 3,000 円がなくなるので、どんどん安くなると思います。

和田◎：本当に 3,000 円は大切です。たとえば、町会長にもお金が出ているだけではない、入ってきているということも言えますから。

和久井さんは何かございますか。

和久井○：まだ委員になったばかりで、やっと少しわかってきました。助成金制度がずっと続けば良いと思いますが、3 月まででしたらそれまでに一回位高齢者のみなさんとの集まりの中で利用したいと思います。

和田◎：宇治野さん何かございますか。

宇治野○：特にありませんが、高齢者センターも年明けに利用させていただきますので、よろしくをお願いします。

和田◎：高齢者センターの中でグループで利用できるようにするという話はどうなっていますか。

宇治野○：勧めていても、いざとなると誰が申込みをするのだという話になり、なかなか利用がありません。

和田◎：センターで利用手続きをすることはできないのですか。

宇治野○：結局食事に行くかどうかは、その時々で出る話なので、予定を組んで食事に行くということが少ないのが現状です。少人数でも難しい点があります。

伊部◇：本年度少人数で利用しているところを調べてみたところ、『ふれあい和泉橋』や『ふれあい富士見』など、“ふれあい”がつくところが利用しているようですがいかがでしょうか。

宇治野○：それは、ふれあいクラブという食事ボランティアのグループです。

江戸川○：先日、ふれあいクラブで利用しました。

宇治野○：だいたい 1 グループ、7～8 名のグループです。

伊部◇：この名前がだいぶありましたので、宇治野さんが PR してくださったのかと思っていました。

宇治野○：PR はしても、利用したかどうかのお返事まではありませんので、結果までは把握できないでいます。今日は欠席していますが、中

田さんが、結構PRしてくださっているので、その効果が大きいと思います。

福島◇：利用して、非常においしかったという感想もいただいています。

松本○：業者の方々にはお邪魔になっていませんか。

傳●：いえ、こちらは感謝しています。

松本○：私どもも、本当はいつも同じお店ではなく、違うお店も利用したいのですが、町会もちどり会もそうですが、お相手が高齢者や難聴の方もおり、説明してもなかなか理解していただけない点があります。先日も『源来酒家』を利用しようと計画していましたが、結局いつものお店になりました。

和田◎：役員のみなさんで一度下見にいらしたらいかがでしょうか。

松本○：役員も足腰が弱い方が多く、大変なのです。となるとやはりどうしても近いお店になってしまうのです。

中村◇：世田谷区でもこの事業を行っていますが、やはり、お店まで行く道のり（乗り物）が課題になっています。

(5) その他

伊部◇：それでは、最後に次回の日程を決めたいと思います。

和田◎：今のところ、3月8日（火）を予定していますが、みなさんのご都合はいかがでしょうか。

～異議なし～

それでは次回は3月8日（火）14：30～といたします。本日はありがとうございました。

以 上

平成 22 年度 第 3 回 千代田地区生衛業福祉推進委員会 会議記録

作成者 松本

開 催 日		時 間
平成 23 年 3 月 8 日 (火)		14 時 30 分から 15 時 50 分まで
会 場	千代田区社会福祉協議会 6 階就労室	
出席者	委員	和田委員長 (町会) / 都築 (とまとの会) / 中田 (とまとの会) / 大石 (昌平)
		和久井 (昌平) 小笠原 (あつまろう会) / 江戸川 (なでこ) / 松本 (町会)
		宮下 (ちどり会) / 鈴木 (町会)
		梅澤 (地域福祉係) / 武藤 (地域福祉係) / 宇治野 (高C) / 松本 (地域福祉係)
		吉永 (VC)
	業者	目崎 (いろは) / 折原 (蛇の目) / 浅野 (あさ乃)
	センター	中村 / 伊部 / 福島

議 事

(◎=委員長、○=委員、●=業者、◇=都生活衛生営業指導センター、
→=事務局)

[資料確認] 伊部◇

[あいさつ]

中村◇ みなさまこんにちは。いよいよこの事業も終わりということで、この委員会も今日が最後となります。平成 15 年度からはじまり、年々利用実績も増えてきていました。これは地区生衛業、特に飲食店関係と地域のみなさまとの関係ができたことを意味していると思っています。事業は終わりますが、引き続き協力店のみなさまご協力をお願いいたします。団体・町会のみなさまに関しましては、助成金はなくなってしまいますが、お店に行けばサービスして下さると思いますので、よろしく願いいたします。本当にありがとうございました。

梅澤○ みなさまこんにちは。お忙しいところありがとうございます。今中村さんからもお話がありましたが、モデル事業は今年度で終わりになります。社会福祉協議会は、地域のみなさまと一緒に福祉活動を進めていこうということで、事業展開をしています。今回飲食店のみなさまと新たなつながりができて、ボランティアのみなさんもたくさんお店を利用されたと思います。私たちもこのままおわりということではなく、ぜひみなさまと地域の活動を進めていけたらと思っています。私

たちからも情報を発信したり、関わりを持っていかないと、事業が終わってしまうとどうしてもそのまま終わってしまうということになってしまいます。冒頭、事業のちらしを配布させていただきましたが、やはり災害が起きた時に関わりあえるかというのは、日頃の地域のみなさまとの関係があって初めて災害の時に活かされると過去の被災地での話で出ています。このような定期的な学習会にもみなさまにご参加いただいて、顔の見える関係を築けていければよいなと思っていますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

伊部◇ それでは和田委員長ご挨拶をお願いいたします。

和田◎ 委員長を務めさせていただきました和田です。この事業も今年度で終わりということですが、それは助成金を利用できるのが終わりということで、私の気持ちの中ではまだまだこれからも続けていかななくてはいけないことだと思っています。平成15年度からはじまり、8年間この委員会も続けてまいりましたが、みなさまのご協力、またかけた時間もかなりの時間だったことと思います。これから社会福祉協議会の梅澤さんとも話していきたいと思っているのですが、この制度が終わっても、また違った形でこのような会を続けて引き続き考えていられる機会が作れればと思っています。荒川区は1年前に終了しました。世田谷区はまだあと1年残っているようで、今お手元に配布している立派なマニュアルも作られています。

このようなものを千代田区でもできたらいいなと思いました。また、私の職場にも体が不自由な職員がおります。一緒に飲食店などに行き、スロープがついていて、スロープがあるから大丈夫じゃないかというところ、このスロープは急だからこれなら階段の方がいいと言ってスロープを使用しなかつたりします。確かに、お店によってはとりあえずスロープをつけておけばいいというような急なスロープがあります。しかし、このようなことは実際に障がいのある人と一緒にいたから気づけたことです。この生衛業の事業でも補助犬等、実際現場で働く人たちと関わる機会を設けていただくなど、大変勉強させていただきました。この7年間そのような機会を与えられ少しずつわかってきましたが、まだわからない点もたくさんあります。今後は社会福祉協議会の方とお話しして、これからも発展させていけるように進めていければと思いますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

(1) 平成 22 年度地域福祉増進モデル事業報告 (案) について

伊部◇ (報告書資料説明)

福島◇ (世田谷区接客マニュアル説明)

和田◎ みなさま、資料の説明をきいていかがでしょうか。私から一つ。今のこの資料はまた報告書としてまとまるのでしょうか。

福島◇ はい、報告書として出し。送らせていただきます。

和田◎ サービス提供店のパンフレットは欲しい方がいた場合まだ在庫はありますか。

伊部◇ そちらはないのですが、みんなのやさしいまちづくりのパンフレットはあります。必要であれば何部かお送りいたします。

和田◎ わかりました。それでは今日は最後ですので、これまでやってきたことを振り返りながら、これからこんなことをしたらいいのではないかということがありましたら、お願いいたします。

私が気になりましたのは、「世田谷区接客マニュアル」の中のトイレのところです。トイレが汚れているということは障がい者の方にとっては切実な問題です。健常者でも汚れていると気になりますが、障がい者の方は自分で汚れているところを拭くことが難しいです。私の同僚が障がい者で、どんなに美味しいお店でもトイレが汚いお店は嫌がります。ですから、その方と一緒に出かけるときはどんなに美味しいお店でもトイレが汚いところには行きません。最近一番気になったのは飲食店の方がお手洗いへ行かれたあとすぐに調理を始められていたことです。お手洗いで手を洗ったとは思いますが、お客にはそれが見えません。だから戻ってきたらもう一度手を洗うことが商売人ではないかと思えます。お客さんを大切に作る細やかな気配りが大切だと思えます。

都築○ 私たちも利用者をお店へ連れて行こうとしていましたが、なかなか連れ出すことができず、出前を利用しようかと考えていたところでした。この事業は終了してしまい残念ですが、これからも心がけてみなさん

をお連れして喜んでいただきたいと思います。生衛業のみなさま本当にありがとうございました。

吉永○ 自分はずっと高齢者センターにいましたが、バス旅行などを企画する際にお手洗いに困りました。公衆トイレは和式が多く洋式もあまりきれいではありませんでした。また、飲食店のトイレも和式が多く、食べる場所も座敷が多いために参加できなくて外出を見合わせる方も多くいました。その点に気を遣ってもらえるとありがたいと感じました。

松本○ 今日はとても勉強になりました。足が悪い方でも入りやすいような店舗が増えてゆくと良いと感じました。

和田◎ お店側の意見としてはいかがですか？

目崎● 一部、足腰の不自由な方が腰かけることができないという状況があり、当店も改装する際に改善しようと考えていましたが、できないまま8年経ってしまいました。本当に申し訳なく思っています。この業界も厳しくなってきたり人員にも余裕がなく、お客様に満足していただけるような接客ができなくなってしまうところもありますが、できる範囲で対応してゆきたいと思っています。助成金はなくなってしまい残念ですが、また、いつでも声をかけてください。

和田◎ ありがとうございました。みなさんはいかがですか？

宮下○ あさ乃さん、あたたかいお弁当どうもありがとうございました。またよろしくお願いします。

小笠原○ 近年はお店の接客やサービスが良くなってきており、利用していて気持ちの良いサービスを受けることができましたが、逆に自分たちがきちんとしたマナーをもって食事できていたかどうか考えさせられることがありました。自分たちだけが食事しているわけではないので、周りの人のことも考えるマナーが必要だと思いました。お店のサービスもよくなってきているので、そのお店を利用する私たちの意識もあがっていかないといけないと思いました。

中田○ ボランティアやみなさんは最近になってこの制度があったことを知った方が多いです。周知に8年もかかったのかな、という感じはあります。PRがもっと必要だったのではないかと感じました。お店の方は点字メニューなども作っていただき、ご配慮に感謝しております。今回終了してしまい残念ではありますが、お店の方々ともつながりができたので、今後もよい関係になればいいなと思っております。ありがとうございました。

和田◎ 大石さん一言お願いします。

大石○ 制度がなくなってしまい残念です。制度があるから利用していましたが、助成金がなくなることで利用しなくなってしまうこともあると思います。

和田◎ たしかに助成金があることは大きいです。これからどんどん高齢者が増えていき、家族で外食となった時に食べるお店を選択する際にお年寄りが決定権を握ることも多くなっていくと思います。そのため、これからは値段だけではなく、高齢者に選ばれるような感じの良いお店が選ばれていくようになると思います。選ばれるお店になっていくには、最初が大事です。

今後もご自分たちのお店の特徴を出していただければありがたいと思います。

和久井さん一言お願いします。

和久井○ 馴染んできたところで終了する形になり残念です。ここでみなさんの話を聞いていると、新しい情報をたくさん得ることができました。今後、様々なことに役立ててゆきたいと思います。ありがとうございました。

和田◎ 鈴木さんどうぞ。

鈴木○ 地域に密着した活動ができ、年に数回高齢者の集いを伊藤さんのお店で使わせていただきました。貸し切りにしてもらえるので、人数が20～30名と多いので助かりました。高齢者向けのメニューも多く満足しています。

和田◎ (※生衛業利用の案内のちらしの説明を行う)

あと 20 日ばかりでありますが高齢者センターで宣伝させていただきました。

浅野● 3年程でしたが、いろいろと学習できました。仕出しも行い高齢者向きに作っているのですたさんの方に利用してもらえました。今後は助成金のあるなしに関わらず高齢者の方々に利用していただければサービスしてお持ちいたします。今後ともよろしく願いいたします。

和田◎ では折原さんどうぞ。

折原● お世話になりありがとうございました。小さなお店なので大人数のお客さんに対応することができなく、その点が残念でした。ただ、この制度の利用店に加入してから、高齢者向けにトイレの改修をしました。また当店は座敷ですが、高齢者のことを考えると改装しようかと迷っています。出前や小さな会合でしたら今後もお付き合いさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いします。

和田◎ ありがとうございます。他に何かありますか？

江戸川○ お店の方に美味しい料理等の特徴をPRして高齢者に足を運んでいただきたいですね。今までありがとうございました。

和田◎ 最後に一番たくさん利用していただいた松本さんお願いします。

松本○ 長い間ご協力いただきありがとうございました。せっかく定着してきたところで終了ということでもったいないです。お金がある人ばかりじゃないので、この制度は会として大変に助かりました。味も良くおいしかったです。今後とも機会があったら利用させていただきたいです。

都築○ どのお店も感じがとてもよかったです。またみなさんと一緒にやってゆきたいと思うのでよろしく願いします。

和田◎ 梅澤さん、今後の事業として何かお考えですか？

梅澤○ 普段から顔を合わせていると急なお願いができたりすると思うので、こういった集まりがあるだけでもまたみなさんと何か取り組みができると思います。今すぐ何か新しいことをするというのは難しいかもしれませんが可能であるならばこういった話し合いの場の機会を作れるといいと考えています。

和田◎ 伊部さん、何かありますか？

伊部◇ みなさんとても良いご意見をいただきありがとうございます。助成金がなくなることはご不便かと思いますが、私たちとしてはあくまでも生衛業は地域と密着したものであり、国民生活にとって切りはなせないものだと考えています。生衛業の方々と手と手を携えて活用させる事業です。生衛業には地域住民の福祉の向上にもきちんと対応してゆくという思いがあります。

生衛業の方々がこれから高齢者や障がい者に向けた対応を考えてくれていますので、みなさんと取り組んだということが良かったと思います。本当にいろいろとありがとうございました。

和田◎ 長い間ご指導・ご協力いただきありがとうございました。これからまた新しい事業を考えなければならぬのでみなさんのご意見をいただけたらと思います。本当にありがとうございました。

平成 22 年度 千代田地区生衛業福祉推進委員名簿

No.	氏名	所属団体名/屋号
1	都 築 輝 子	ふれあいサロン「トマトの会」
2	中 田 美弥子	ふれあいサロン「トマトの会」
3	大 石 和 子	昌平ふれあいサロン
4	和久井 ミ サ	昌平ふれあいサロン
5	小笠原 桂 子	たまりば「あつまろう会」
6	江戸川 貞 子	なでしこ神保町
7	宮 下 きよ子	千代田区母子寡婦ちどり会
8	和 田 唯 彦	平河町一丁目町会福祉部
9	松 本 香 子	神田末広町会福祉部
10	鈴 木 久 子	内神田鎌倉町会福祉部
11	目 崎 祐 隆	神保町いろは 鮭商生活衛生同業組合
12	高 橋 総一郎	後楽寿司 飲食業生活衛生同業組合
13	伊 藤 彰 和	中国料理 華 福 中華料理生活衛生同業組合
14	折 原 克 己	麴 町 蛇乃目寿司 鮭商生活衛生同業組合
15	浅 野 誠 一	あ さ 乃 飲食業生活衛生同業組合
16	池 田 友 規	フルーツエリア鶴 飲食業生活衛生同業組合
17	浦 野 竹次郎	神田江戸ッ子寿司「彩」 飲食業生活衛生同業組合
18	傳 登 華	源来酒家 中華料理生活衛生同業組合
19	飯 高 秀 生	鳥 どり 飲食業生活衛生同業組合
20	梅 澤 稔	千代田区社会福祉協議会
21	武 藤 祐 子	千代田区社会福祉協議会
22	宇治野 敦 史	千代田区社会福祉協議会
23	吉 永 和 恵	千代田区社会福祉協議会
24	松 本 任 代	千代田区社会福祉協議会
25	中 村 雄	東京都生活衛生営業指導センター
26	小 川 順 二	東京都生活衛生営業指導センター
27	伊 部 秀 夫	東京都生活衛生営業指導センター
28	福 島 通 文	東京都生活衛生営業指導センター

地区生衛業福祉推進委員会運営要領

平成 22 年 4 月 13 日

22 東生指第 30 号決定

(目 的)

第 1 この要領は、生衛業地域福祉連携推進事業において、生活衛生同業組合（以下「組合」という。）が行う「組合員の営業に係る老人の福祉その他の地域社会の福祉の増進に関する事業についての実施に資する事業」（以下「地域福祉増進事業」という。）の本格実施に向け、モデル事業を実施する地区に「地区生衛業福祉推進委員会」（以下「委員会」という。）を設置することとし、その運営に必要な事項を定めるものとする。

(検討事項)

第 2 委員会は、次の事項について検討を行うとともに、モデル事業の実施に協力するものとする。

- (1) 地区内のモデル事業の推進に関すること。
- (2) 地域福祉増進事業に関すること。
- (3) 社会福祉協議会等の実施する社会福祉事業への協力に関すること。
- (4) その他前各号に関連すること

(構 成)

第 3 委員会の委員の構成は、次のとおりとし、東京都生活衛生営業指導センター理事長（以下「理事長」という。）が委嘱する。

- (1) 地区社会福祉協議会職員及びサロン、ボランティア団体等グループの代表者等 15 名以内
- (2) モデル事業を実施する生衛業の営業者 10 名以内

(委員長選任及び権限)

第 4 委員会に委員の互選により委員長を 1 名置く。

- 2 委員長は委員会を代表し、会務を総理する。

(委員会の招集及び定足数)

第 5 委員会は、委員長が招集する。

- 2 委員会の開催は、委員の過半数の出席を必要とするものとする。

(委員以外の出席)

第6 委員会には、第3条に規程する委員のほか、あらかじめ理事長が認める者が出席し、発言できるものとする。

(報酬等の支給)

第7 委員会に出席した者については、報酬及び旅費を支給する。

ただし、報酬はモデル事業を実施する生衛業の営業者には支給しない。

2 前項に定める報酬及び旅費の額は別表のとおりとする。

(委員会の運営事項)

第8 この要領に定めるもののほか、議事手続きその他委員会の運営に関して必要な事項は、委員会において定めることができる。

(委員会の設置期限)

第9 この委員会の設置期限は、平成23年3月31日までとする。ただし、設置期限前において、第2に規定する検討事項等モデル事業の実施を終了したときは、委員会は終了するものとする。

(庶務)

第10 委員会に関する庶務は、東京都生活衛生営業指導センターの事務局において処理する。その一部を委託することができるものとする。

付 則

この要領は、平成22年4月1日から施行する。

生活衛生関係営業における地域福祉増進に向けた取り組み

— 平成22年度 地域福祉増進モデル事業報告書 —

平成23年3月31日

財団法人 東京都生活衛生営業指導センター

〒150-0012 東京都渋谷区広尾 5-7-1

電話 03-3445-8751
